

Rotary



地区協議会報告

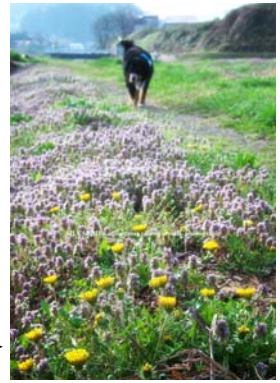
# 例会報告

高山ロータリークラブ

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4F

- 会長 古橋 直彦
- 幹事 遠藤 隆浩
- 会報委員長 塚本 直人

春の気配  
蜘蛛 康介

## ＜会長の時間＞

先週は春の高山祭りと重なり例会を休会としました。幸い 2 日間共天候に恵まれ、満開の桜のもとでお祭りが出来ました。氏子としてご奉仕された会員の皆様、また、氏子以外でお手伝いなさいました会員の皆様、お疲れ様でした。私と伊藤松寿さんは各神社の氏子代表で 14 日 9 時からの日枝神社例祭に参加しました。その例祭の席に今年から、日枝中学校の生徒さん、山王小学校の児童さん各 2 名が校長先生に引率されて、神殿での祭典、参集殿での直会に出席して頂きました。小さい頃から「地域につたわる伝統・文化を肌で感じて頂きたい」とのおもいから日枝神社で招待されたからです。

また、17 日の地区協議会におきましては、道案内や会場の誘導等で協力頂きました会員の皆様 本当にありがとうございます。

さて、卓話に入ります。飛騨の焼きものの窯（かま）で全国的に有名なのが洪草焼です。洪草焼の歴史は大体三期に分けられて語られます。

天保十二年（1841）高山陣屋の郡代豊田藤之進（とよだふじのしん）が地元の御用商人とはかり、瀬戸の陶工戸田柳造を招いて上岡本村洪草に窯を開いたのが始まり。しかし戸田柳造が没し衰退していった。これまでの期間（約 25 年）ここまでが第一期。

戸田柳造死後、5 年後には明治にかわったのですが、その衰退していた陶業（とうぎょう）を明治 11 年再興する事となります。当時高山における名家として、また事業家として名ある人々である酒造家の永田吉右衛門、平瀬市兵衛、呉服商の阪田長五郎の協力を得て茂住鉱山を経営していた三輪源次郎が 4 名で組合組織をつくりその名を洪草焼とつけた。有田焼の手法を入れ社名を芳国社とつけた。しかし販路が開けず挫折してしまいます。その明治三十年までを第二期。

そして三輪源次郎の全財産を呑み込んでしまい三輪の死後、土川宗左衛門の協力を得て松山吉一（よしかず）の経営に移り、現在の洪草焼に至るまでが第三期となります。

さて、前置きが長くなりましたが第 2 期でこの人について語りたいと思います。曾我徳丸という人物です。洪草焼のコレクターの中には曾我徳丸の作品を集めている熱心なマニアもいらっしやるほどです。

曾我徳丸の父、曾我竹山は、洪草焼の第一期、瀬戸の戸田柳造と同じように、時の郡代に招かれ九谷から高山に迎えられた人です。曾我徳丸は竹山の次男として高山にうまれていきます。徳丸も明治 5 年に高山を去り、東京に出て天香社に勤め、東京に於ける地位を固め生活も安定していたようです。先ほどもお話を致しましたが、田柳造死後、衰退していた陶業（とうぎょう）を明治 11 年永田吉右衛門、平瀬市兵衛、呉服商の阪田長五郎そして三輪源次郎 4 名の町衆が再興します。当然、中心となる陶工・絵付け師が重要となります。こうして徳丸に対し洪草再興のため帰郷



をうながしてきたのですが、曾我徳丸も当然の事とは思いますが慎重な態度を取っていたようです。結果、東京より曾我徳丸はその弟子の小野華処を連れて高山に戻ってきました。高山に戻るにあたり支度金や旅費絵の具代などかなり要したとの事です。また、徳丸の月給は 25 円、華処は 12 円 明治時代の給料や時の物価からしては破格の待遇だったようです。

徳丸も帰国し、人員もまとまり製造も軌道にのり、徳丸等の絵師による絵付けは赤絵や五彩の美しい陶器を作り出しました。また洋絵具によって斬新な意匠のものも作り出しました。こうして作品の上では発展していったのですが、今度は 4 人の意見が合わなくなっていく。一つには良いものを少なく作り洪草焼の名をあげようという優秀な品作りを目指す意見と、三輪源次郎の様に飛騨を美濃や尾張にも勝る一大陶業地にするという抱負をもった意見の食い違いがでてきたためです。

また、悪いことには、旦那様たちが家からお金をもちだすだけが収入であったため、初め旦那様の遊びのつもりが経済的には泥沼に足を突っ込んだ形になったこと。明治 13 年の会社設立から 4 ケ月目に永田が脱退、阪田も退社の意をもらし、明治 14 年半に徳丸が去ります。徳丸が高山を去るに当り、洪草焼はよい作品はできても企業としては進展せず、徳丸にも初めに決めた給料も支払われなかったらしい。徳丸の東京の留守宅にいる母の処へも送金ができず、留守宅では生活に窮し、門人の小野華処の先祖伝来の刀も質流れし、ついに帰らなかったと記されています。明治 12 年 1 月から 2 年半の徳丸の努力も空しく、資金主の永田、阪田、平瀬と脱落し事業の継承も危ぶまれるに至り東京に帰る決意をしたと思われる。

徳丸が去るについて、三輪源次郎が引き止めたと思われるが徳丸も一徹であり、また、三輪源次郎も頑固な一面があり結局徳丸が東京に帰るなら高山に来るにあたり渡した支度金も返していけと言おうような無体な話になり、金の代償に徳丸が連れてきた門人の小野華処を人質に取るような結末となり、華処は高山に残ります。洪草焼の名工として、また日本陶磁器上絵付の恩人としての徳丸も、晩年はめぐまれなかったようです。

「飛騨の徳丸九谷で書く」と落款を押したものがあるそうです。当時は洪草で作る作品は九谷の銘を入れなければ売れなかった時代で、これに対する徳丸のプライドというか反発がこの「飛騨の徳丸九谷で書く」の落款になったといえぬこともないと思われます。事実、九谷と銘を入れた赤絵が多く作られていたようです。

## ＜幹事報告＞

### ◎ガバナーエレクトより

- ・地区研修・協議会ご協力御礼

### ◎ガバナーより

- ・韓国第 3600 地区年次大会交換交流派遣学生募集案内  
期 間 7 月 21 日(木)~7 月 25 日(月)の 5 日間の予定  
場 所 韓国第 3600 地区京畿道地域(ソウル近郊)



世界へのプレゼントになろう

# 例会報告

募集人員 25名(各学校2名までの応募を認めます)  
 負担金 60,000円 申込締切 5月11日(水)必着  
 選考日 5月22日(日)13:15~ じばさん三重

## ◎ガサ、ガサエレクト、ガサノミユ、地区規定審議会代表議員より

・2016年度 規定審議会報告会開催のご案内  
 日時 5月12日(木)15:30~17:00 or 13日(金)14:00~15:30  
 会場 四日市市文化会館 or 十六プラザ  
 ※両日のうちご都合のよい日をお選び下さい。

## ◎はぐるま会会長より

・第182回はぐるま会開催のご案内  
 日時 5月15日(日) 13:11スタート  
 場所 飛騨高山カントリークラブ  
 会費 3,000円 締切 5月2日(月)

## ◎飛騨慈光会後援会より

・飛騨慈光会後援会 第11回総会のご案内  
 日時 5月14日(土) 午後3時より  
 場所 飛騨慈光会 山ゆり福祉会館 1Fホール

## ◎高山市社会福祉協議会より

・平成28年度第1回評議員会の開催について(ご案内)  
 日時 5月30日(火)14:00~  
 会場 高山市総合福祉センター 3階作業室

## ◎高山・デンバー友好協会より

・平成28年度通常総会の開催について(ご案内)  
 日時 5月9日(月) 午後7:00~  
 場所 高山市役所地下1階大会議室

## ◎高山市文化協会より

・平成28年度通常総会の開催について(ご案内)  
 日時 5月27日(金) 午後7:00~  
 場所 高山市民文化会館2-3会議室

## <受贈誌>

(財) 米山記念奨学会「ノイライト」(みやま193)、(株) 和光(ロータリー用品カタログ)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	28名	6名	34名	42名	80.95%
本日	29名	-	29名	42名	69.05%

## ガバナーエレクト・次期地区代表幹事挨拶



### 国際ロータリー第2630地区 ガバナーエレクト 剣田 廣喜 様

先日の地区研修協議会では、高山西RCの皆様にご参加頂き、また運営へのご協力も賜り誠にありがとうございました。

そして、貴クラブから地区幹事としてご出向頂いている小森文一様には、実行委員長として大変素晴らしい開会挨拶のお言葉を頂戴しました。思い起こせば3年ほど前になりますが、小森さんに是非地区幹事をお願いしたいと申し入れさせていただいた際、まずはクラブから、さらには小森さんご自身からも体調を理由にお断りされました。しかし私は、敢えてそこを曲げて、とお願いし

地区幹事に就任いただいた経緯がございます。貴クラブのみならず、長く財団委員を務められるなど第2630地区へも多大なる貢献をされた小森さんに、最後の花道として、是非挨拶に立っていただきたいとの思いからでございました。

しかし、私の思いと裏腹に小森さんは地区幹事としての細かな、いわゆる「雑巾がけ」的な仕事にも大変熱心に取り組んで下さっています。これは私には、小森さんの貴クラブへの愛がなせる姿だと映っております。つまり近い将来、高山西RCからガバナーを輩出する際の心構えとして、必要な事を今吸収しておこうというお気持ちがそうさせているのではないかと思います。

小森さんの本当の意味での最後の花道は、その際まで先送りとなりましたので、是非その機会を設定していただくよう、今後小森様ならびに貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げ御礼の挨拶とさせていただきます。



### 次期地区代表幹事

#### 伊藤 正隆 様

先日の地区研修協議会では、高山西RCの皆様には荒天の中での車両誘導など大変お世話になり誠にありがとうございました。

昨年11月の次期アシスタントガバナーセミナーからはじまり、CCセミナーやPETS等を経て今回の地区研修協議会へと辿り着き、剣田年度への助走期間がようやく一区切りとなりました。

10月の地区大会には会員皆様揃ってのご参加をお願いしまして御礼の挨拶とさせていただきます。

## <本日のプログラム> 地区協議会報告

### 榎坂 純一

「職業奉仕委員会」の分科会に参加させていただきました。本分科会で印象に残った点を簡単に報告させていただきます。講義内容では、ロータリークラブの「職業奉仕」に対する内容が最も印象に残りました。



ロータリークラブの「職業奉仕」とは、仕事以外にボランティアなどを積極的に行い、奉仕していくということではなく、まずは自身の仕事を繁栄・存続させていくことが大切であるという内容でした。この点について、ロータリークラブの基本的考え方は「We serve」ではなく「I serve」であると学ぶことができました。このような講義を聞き、若干救われたような気持ちになりました。今後は私も、「I serve」の気持ちをもって、まずは自身の会社を繁栄・存続させ、ひいては社会に貢献できるような経営者になりたいと思いました。今回は貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

世界へのプレゼントになろう

# 例会報告

## 杉山 和宏

当日午前中は駐車場担当でしたが、運悪く嵐の様な天候になり雨カッパを着ていても濡れてしまう状況でした。駐車場に停めた方々も雨風の中を建物まで歩いて行くのですが、さすがロータリアン、私たちやシルバー人材の方々にも丁寧に挨拶をされ、高い品格を改めて感じました。また、多く的高級車がショールームの様に並び、目を楽ませていただきました。

次年度会員増強の副委員長を拝命いたしましたので、会員増強部門分科会に参加させていただきました。どんな話をされるのか、何を求められるのか緊張しておりましたが、明るい雰囲気の中、会員増強の重要性を学ばせていただきました。①自らがロータリーの目的、歴史、成果を知っておくこと。②現在の会員を維持し、活動の満足度を高めること。とにかく自分がしっかりとロータリアンになることが会員増強の第一歩ということで、いつまでも新人ではいけないと感じました。

また、マイロータリーに登録し、クラブセントラルを見ると自分のクラブの会員増強の目標、現状、財団への寄付などがすぐ確認できるということで、早速サイトから確認しました。次年度にはしっかり活用したいと思います。まだまだロータリーについて知らないことばかりですが、まずは自分がしっかり理解をして、会員増強につなげていきたいと感じました。

参加させていただき、ありがとうございました。

## 新井 典仁

私は社会奉仕・環境保全・国際奉仕の分野である「奉仕プロジェクト部門」という分科会に参加させて頂きました。1時間半ほどの分科会でしたが、本来であれば資料など作成し具体的にご報告できれば良かったのですが、今回わたくし初めての地区協議会参加でございまして、いまいち内容や流れ等よく理解出来ておりませんでしたので、少し的外れな報告で大変申し訳ないんですが、分科会の中で唯一印象に残った事を少し発表させて頂きたいと思います。

分科会ではロータリー財団の補助金に関する説明があったのですが、その中で補助金を申請して社会奉仕プロジェクト事業として、3年計画でフィリピンの野球少年たちを支援したり、野球を通じて交流しているという熊野ロータリークラブさんのスライド画像を交えてのお話を伺いました。フィリピンは比較的野球が盛んなのですが、経済的な理由で道具やプレイ環境など恵まれていませんので、昨年はマニラロータリークラブさんを通じて、現地の少年野球チームに熊野ロータリークラブの会員さん2名ほどで赴いて、道具などを寄付したりキャッチボールなどの交流をしてきたそうです。ちなみにマニラロータリークラブさんはアジアで最初に発足したロータリークラブで、今年で98年目だそ



うです。マニラロータリークラブの事務局の建物の外観をスライド画像で見せて頂いたのですが、治安が悪いらしく建物全体が高い鉄格子に囲まれていました。国が変われば、ロータリークラブの運営も命がけだなと思いました。

そして今年の1月ですが、熊野ロータリークラブさんは2630地区の国際奉仕委員会とタイアップして岡田ガバナーなどと共に10名以上でマニラに赴き、フィリピンの少年野球チームと5回までのミニ試合をしたそうです。試合は熊野ロータリークラブさんが勝っていましたが、最終回になり岡田ガバナーの「このまま勝ってええんか〜？ええんか〜？」と言う声が聞こえ、10対11でフィリピンの少年野球チームがさよなら勝ちをしました。今回はフィリピンの子供たちに負ける悔しさでは無く、勝つ喜びを教えられたと言っておられました。

試合後には、フィリピンの地元の料理がふるまわれ親睦を深められたそうです。海外との交流が深められる奉仕活動も魅力的だと思いました。以上です、有難うございました。



## 住田 泰典

今回の研修会では午前中に駐車場整理、午後には職業奉仕委員会の研修に参加させていただきました。駐車場整理では警備会社やシルバー人材センタ

ーの方々と共同でバスや自家用車でご来場の方々の誘導しました。当日は朝からあいにくの暴風雨で全身ずぶ濡れの状態でしたが、こんな時だからこそ少しでも笑顔でお迎えしたいと、ご来場の皆様にお声をかけさせていただきました。

職業奉仕委員会の研修会では、職業奉仕と社会奉仕の違いの説明に自分なりの解釈が出来ました。職業奉仕は職業を繁栄させることで自分に利益が帰ってくることであり、社会奉仕は利益を社会に還元されることだと学びました。私の経営する会社はサービス業であり、日頃従業員に次の3つの点を大切にするよう指導しています。1、お客様に喜んでいただくこと。2、喜んでいただいたら気持ちよく且つ出来るだけたくさんお支払いいただくこと。3、その利益は社内で公平に分配すること。この3点をふまえると、職業に前向きに取り組み安定した利益を出すことこそが職業奉仕であり、利益は従業員にも還元され、それは消費拡大や納税額の増加など、社会奉仕にも通じるのではないかと考えました。

改めて職業奉仕は非常に奥深いものだと考えさせていただける研修に参加させていただき感謝しています。

## 田中 晶洋

私は次期インターアクト委員長の山下直哉さんの代理で、青少年奉仕部門分科会に参加して参りました。



世界へのプレゼントになろう

# 例会報告

次期青少年育成小委員会委員長の高山中央ロータリークラブ 下田徳彦さんの発表で、中央ロータリークラブが力を入れている出前講座の内容について触れられました。中央RCではマニュアルを作成しているとのことでしたので、後日入手して回覧頂きたいと思います

もう一つ、ローターアクトクラブについてですが、私自身ローターアクトという言葉に馴染みがなくピンときませんでした。今回分かったのはローターアクトは18歳～30歳の若者を中心とした活動で、地域社会を基盤とするローターアクトクラブと、大学を中心としたローターアクトクラブがあり、名城大学RACは可児キャンパスの移転に伴って閉鎖となり全体では30名の減員となったそうです。大学の移転で大きな影響が出ることを改めて知りました。

ロータリーの一員としてはもちろん、地域に帰ってからも身近な青少年の育成ということを心がけていきたいと感じました。

## <ニコニコボックス>



●国際ロータリー第2630 地区ガバナーエレクト 剣田 廣喜 様  
〃 次期地区代表幹事 伊藤 正隆 様  
研修協議会には高山西RC様には大変お世話になりました。

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

ガバナーエレクト剣田さん、次期地区代表幹事 伊藤さんの御来訪を歓迎いたします。地区協議会お疲れさまでした。また参加された皆様もお疲れさまでした。報告よろしくお願い致します

●小森 丈一さん

- ・剣田GE、伊藤代表幹事、先日の地区研修協議会にご苦勞様でした。午後からは前途を祝すかの様に上天気となり、明るい一年となる事を願っています。
- ・17日の地区研修協議会でお手伝いいただいた6名の方々ご苦勞様でした。特に悪天候の中、屋外で仕事をされた3名の方ありがとうございました。
- ・当日、実行委員長として開会の挨拶の機会を頂き、無事終える事が出来安堵しました。内田さんはじめ岡田GやPGの方々からもお褒めの言葉を頂き恐縮しました。残る大きな行事は10月の地区大会です。全員のご参加を期待しています。

●岡田 賛三さん、平 義孝さん、阪下 六代さん、内田 幸洋さん、  
田近 毅さん、米澤 久二さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、  
瀧野 幸泰さん、垣内 秀文さん

剣田 廣喜ガバナーエレクト、伊藤 正隆次期地区代表幹事のご来訪を歓迎申し上げます。いよいよ出航間近になりました。ご自愛ご健闘の程お祈り申し上げます。

●新井 典仁さん、田中 晶洋さん、住田 泰典さん、杉山 和宏さん  
先日の地区協議会に参加させていただきありがとうございます。後ほど報告させていただきますが良い経験となりました。

●塚本 直人さん、

4月17日の地区研修協議会に出席しました。次年度井辺会長、堺幹事にはお世話になりました。クラブの仕事も地区の仕事も精一杯取り組みます。剣田さんよろしくお祈りします。

●向井 公規さん

本日は家内の誕生日で立派なお花をいただき誠にありがとうございました。マタタビにも全く無反応な愛猫ですが、花には異常な反応を示し食べ散らかしてしまうので美術館に飾らせて頂きました。

●井上 正さん

16日夜～19日まで急遽熊本へ支援物資を依頼いただき、約1,000kmかけて陸送し直接お渡しさせて頂きました。その頃はガソリンスタンド、コンビニも閉鎖で調達が出来ず、また各家も物が散乱し1日におにぎり1個が来るかどうかの状態でした。また南阿蘇村も行きましたが同様の状態でした。改めて食料品やカセットコンロ・ボンベ、水などの備蓄品は備えておくべきだと感じました。1日も早い復旧を、余震が収まる事をただ願うばかりです。また結婚記念日に頂きましたワイン妻と楽しませていただきます。ありがとうございました。

●田中 正躬さん

先日の地区協議会に出席された皆様ご苦勞さまでした。今日は出席が危ぶまれましたが早退で解決しましたので早退します。